

地域と連携した「PTA親子活動」の取り組み

## 1 目的

- ・体験活動にとどまらず、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの成長を支える。
- ・地域の方と協力して畑づくりや収穫、また、収穫物を利用した活動を行うことで、家庭内での会話や協力関係を促進し、親子のきずなを深める。
- ・児童や保護者は地域の知恵や経験の価値観を実感し、地域に支えられていることへの気づきを得る。
- ・地域の方に、子供たちの成長や親子の学びに関わっていただくことで、相互理解と信頼関係を深める。

## 2 内容

### ○1年生【地域連携…地域在中：元、西桂小学校用務員】

とうもろこしを育てるため、ご指導のもと、畑の畝づくりと苗植えを行った。児童が収穫したとうもろこしは、しっかりと乾燥させた後、授業参観日に合わせてPTA学年活動として「親子ポップコーンパーティー」を実施した。自分たちが育てた作物の恵みを親子で味わい、豊かな学びにつなげることができた。



### ○5年生【地域連携…西桂町農業委員、食生活推進委員、郷田精米店】

活動は、田植え、稲刈り、脱穀、そして収穫した米を用いた非常食づくりという流れで構成した。全工程で、地域の方々のご協力をいただき、農業体験と地域交流を深めることができた。調理実習で用いたお米は、児童によって「西子西子米（ニコニコマイ）」と命名し、親子での非常食調理実習を通じて防災意識を高めた他、自分たちで育てたお米への愛着と喜びを感じることができた。収穫したお米の一部は、日頃お世話になっている方々へ感謝のメッセージと共に贈呈し、残りのお米は家庭に持ち帰り、活動の成果を家族と共有した。



## 3 成果と課題

- 畑づくり、苗植え、収穫、調理実習といった一連の体験的な活動を通じ、農業や食育、そして自然環境に対する理解を深めることができた。
- 親子で協力して実習に取り組む機会が増えたことで、家庭での会話も増加した。これが実習内容の振り返りや、家庭内での新たな話題作りにつながった。
- 地域ボランティアの方々にご協力いただくことで、活動に関わる人々の顔が見える関係性を築けた。これにより、地域のコミュニティ活性化に貢献することができた。
- 5年生の活動では、非常食づくりを通じた防災教育と連動させるなど、実習内容を他分野の教科・学習内容と横断的につなげることができた。
- 活動にご協力いただく地域ボランティアの方々の高齢化が見られる。今後の持続性を確保するため、多忙な方でも参加しやすい時間帯や活動形式を工夫する必要がある。
- 慣れない作業においては道具の使用方法などに起因する危険性が伴うので、怪我を未然に防ぐためにも、引き続き安全管理を徹底する必要がある。